

平成17年度市場モニタリングテスト結果

機構の技術支援のもとで 「消費生活センターが実施した試買テスト」

(独立行政法人製品評価技術基盤機構)

独立行政法人製品評価技術基盤機構では、製品の安全性及び品質を把握するとともに、消費生活センターのテスト技術向上に資するため、テスト技術等について当機構の支援のもとで消費生活センターが商品テストを実施する制度(「消費生活センターテスト支援」)を設けています。

この制度により、平成17年度に実施したテーマ及び消費生活センターは次のとおりです。

なお、テスト結果の詳細については各消費生活センターのホームページをご覧ください、または各消費生活センターにお問い合わせください。

夏用手袋

<北海道立消費者センター>

紫外線の健康への影響が言われており、春先になると売り場では様々な紫外線対策のための繊維製品が販売され、運転や外出時に紫外線対策用に手袋を利用する消費者も増えてきています。そこで、市場で販売されている夏用手袋について、その紫外線遮蔽効果や耐光堅ろう度、耐洗濯性についてテストを行いました。

テストの結果、紫外線遮蔽率を色違いの銘柄で比較すると、濃い色(黒)の方が薄い色よりも若干高く、隙間の多いネット、レースの銘柄は色の濃淡等に関係なく遮蔽率が低いなどの結果がでています。これらのテスト結果から、消費者が商品を購入したり、安全に使用するために必要な情報を整理しました。

除湿器

<宮城県消費生活センター>

天候が悪く湿度が高い梅雨時には、洗濯物がなかなか乾かなかったり、部屋がじめじめし、カビが生えたりすることから、湿気対策として除湿機が使用されています。

最近、除湿機から出る乾いた風を利用し、洗濯物の乾燥を目的とした衣類乾燥除湿機が出回っています。そこで、除湿能力、衣類の乾燥性、安全性及び運転時の騒音等についてテストを行いました。

テストの結果、除湿方式にはコンプレッサー式とデシカント式のものがありました。除湿性能については、定格除湿能力の95%以上を満たさない商品があり、各部の温度については、電気用品安全法?の基準を全て満足していたものの、吹出口の温度が高くなるものがあるなどの結果がでています。これらのテスト結果から、消費者が商品を購入したり、安全に使用する

ために必要な情報を整理しました。

ワイシャツに用いられる芯地の収縮について

< 栃木県消費生活センター >

ワイシャツには一般に「必要な外観を形成する」、「型崩れを防止する」、「補強する」、「縫いやすくする」といった目的で、えりやカフス、前立てに芯地が使用されています。その芯地には着用・洗濯が繰り返されても、収縮変化や風合い変化が少なく、着用可能な外観が維持されることが要求されますが、その芯地を接着する熱可塑性樹脂が、繰り返しのクリーニングで収縮することが知られています。そこで、市販のワイシャツに使用されている芯地の実態、及び、家庭洗濯や商用クリーニングでの収縮について調査を行いました。

テストの結果、えり、カフス、前立て部分に芯地が使用され、その芯地の種類はフラシ芯、永久接着芯、一時接着芯に大別できました。特に収縮が起こりやすいものは、形態安定加工が施されておらず、かつ永久接着芯を使用しているワイシャツであり、芯地の収縮に関する表示が望まれるなどの結果がでています。これらのテスト結果から、消費者が商品を購入したり、安全に使用するために必要な情報を整理しました。

食器洗い乾燥機

< 群馬県消費生活センター >

食器洗い乾燥機は、家事の軽減、節水及び省エネ効果も期待できる家電製品であり、多様な洗浄方式の商品が販売されていますが、各社のパンフレットだけでは、比較検討を行う情報が整理されていない。そこで、比較検討ができるように各種テストを実施し更にパンフレットの情報を整理しました。

テストの結果、標準コースでは、見た目がきれいになっても、でんぷん等の汚れが残ることがあるので、確実にきれいにするには食器の収納容量はカタログ値の半分程度にし強力コースで行うとよいなどの結果がでています。これらのテスト結果から、消費者が商品を購入したり、安全に使用するために必要な情報を整理しました。

家庭用シュレッダ

< 愛知県県民生活部県民課中央県民生活プラザ >

シュレッダは従来から業務用に使用されている商品であるが、平成 17 年 4 月から「個人情報保護法」が施行され、家庭でも個人情報に関する意識が高まってきており、家庭にも普及し始めています。そこで、表示、性能、安全性及び使用性について調査を行いました。

テストの結果、子供の指を挟み込む可能性のあるものが 3 銘柄ありました。また、家庭用シュレッダには手動式と自動式があり、細断率()が 90 %以下のもの、消費電力が表示の許容差(± 20 %)を超えたものがあったなどの結果がでています。なお、これらのテスト結果から、消費者が商品を購入したり、安全に使用するために必要な情報を整理しました。

防災用品

< 京都府消費生活科学センター >

全国的に防災意識が高まっており、緊急避難セット、非常持ち出し袋などの名称で、防災用品をセットにしたもの、絆創膏やマスクなど衛生用品を中心としたもの、飲料水や乾パンなど食料を揃えたもの、充電機能のついた発電式ラジオ・ライトや安全ろうそく等を備えたものなど、多種多様な製品が、通信販売及びインターネット等で販売されています。

そこで、防災用品について、個々の製品の特性や使用法を調査した上、充電式ラジオ・ライトを中心に、基本的性能のテストを行い、実際の災害時にどのように活用ができるかについても調査を行いました。

テストの結果、充電式のラジオ、ライトの充電方式はハンドルを回す・握る・上下に振るなどで、ライトについては、充電時間に比例して使用可能時間が伸びないなどの結果がでていることから、点灯したまま必要に応じて充電を行うという使い方が効率的であり、購入前に充電操作のしやすなどを実際に確認してから購入することが望ましいなどの考察を行っております。これらのテスト結果から、消費者が商品を購入したり、安全に使用するために必要な情報を整理しました。

IHクッキングヒーター（電磁調理器）

< 福岡市消費生活センター >

IHクッキングヒーターとは、コイルに高周波電流を流すことによって生じた磁力線により、金属製のなべ底に渦電流を発生させることでなべそのものを発熱させるという調理器です。ガスのように炎が出ないため火事や火傷のおそれが少なく安全であるというイメージがありますが、専用のなべを使用しなければならず、加熱状態が確認しにくいという短所もあります。また、電磁波についての問い合わせも寄せられている。

そこで、IHクッキングヒーターのうち、家庭用卓上型の製品についての性能、安全性機能の動作確認（小物検知機能、切り忘れ防止機能、空だき防止機能等）、電磁波の測定及び使用性等についてテストを行いました。

テストの結果、安全機能の一つである小物検知機能については、全ての試料の検知機能等が働いたが、加熱部の中心に置いたステンレス製スプーンが92℃まで上昇するものもあった。

また、空だき防止機能については空のアルミなべ（小）を載せて最大火力で加熱したところ、30分間経過しても加熱停止しないものもあったなどの結果がでています。これらのテスト結果から、消費者が商品を購入したり、安全に使用するために必要な情報を整理しました。